

令和4年度第2回福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議に係る意見及び回答について

	質問、意見等	回答
1	<p>【福島県観光物産交流協会】</p> <p>外国人宿泊者数が伸びてこないなど風評被害が全県に及んでいると思われる。今後の処理水海洋放出問題もあることから風評被害等に対する予算などの支援措置は浜通りだけでなく全県対象とすることや地元にとって使いやすい事業にしていきたい。</p>	<p>【資源エネルギー庁】</p> <p>まずは風評被害が発生しないよう、安全性の理解醸成活動に全力で取り組みます。</p> <p>また、福島県における観光復興を促進することを目的とした、福島県が実施する滞在コンテンツの充実・強化、受入環境整備、プロモーション強化等の取組や、地域の伝統・魅力等の発信のための民間団体等が実施する取組を支援するなど、浜通り以外の県内地域でも活用できる事業も用意しており、さらに、日本旅行業協会とも連携し、浜通りを含めた福島県における旅行商品の造成に向けた支援も実施しております。</p> <p>一方、それでも風評被害が発生してしまった場合のためのセーフティネットとして、業種や地域を問わず、東京電力による適切な賠償がされるよう、政府としても指導してまいります。</p>
2	<p>【福島県観光物産交流協会】</p> <p>処理水海洋放出も含め「安全ですよ」とお客様に説明するとき、どのように説明すれば良いか教えていただきたい。また、マスコミでは処理水海洋放出反対の声ばかり取り上げられるので、国民が不安になっていると思われる。「安全」の具体的内容が報道されるよう説明なり、対応をお願いしたい。</p>	<p>【資源エネルギー庁】</p> <p>経済産業省のホームページにて、ALPS処理水、放出の必要性、その安全性などについて、わかりやすく説明すべく様々なコンテンツを作成しております。ご説明の際は是非こちらをご活用ください。また、マスコミに対しても正しい情報を提供するためにマスコミ向けの説明会も実施してきました。先日よりALPS処理水に関するCMの放送も開始いたしましたが、引き続きALPS処理水の安全性を正確にご理解いただけるよう、マスコミをはじめ、様々な方に対して説明を尽くしてまいります。</p> <p>また、政府の基本方針に基づき、東京電力ではALPS処理水の処分にあたり、第三者による確認も含め、国の安全基準を十分に満たし、安全性を確保して放出するとともに、政府及び東京電力のモニタリングを拡充・強化しており、透明性・客観性・信頼性のもと安全確保に努めてまいります。</p> <p>また、地元の皆さまをはじめ社会の皆さまのご関心や懸念事項に沿ったご説明ができるよう東京電力のホームページに、特設の「処理水ポータルサイト」を開設し、「ALPS処理水の処分方法」や「海域モニタリング」などALPS処理水に関する様々な情報をまとめているほか、SNSでの発信、パンフレット等もご用意していますので、これらをご活用いただければと思います。</p> <p>国内外のメディア等を通じた情報発信については、科学的根拠に基づく情報をお伝えいただけるよう、報道発表、記者会見、発電所の現場公開、説明会等を実施し、今後も引き続き、強化してまいります。</p>